

2016年度実績の概要

2017年5月15日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

■ 本資料における計数、表記の定義

- 連結：三井住友フィナンシャルグループ連結
- 単体：三井住友銀行単体
- 親会社株主純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
- SMFG：三井住友フィナンシャルグループ
- SMBC：三井住友銀行
- SMBC信託：SMBC信託銀行
- SMFL：三井住友ファイナンス&リース
- SMBC日興：SMBC日興証券
- SMBCフレンド：SMBCフレンド証券
- SMCC：三井住友カード
- SMBCCF：SMBCコンシューマーファイナンス
- SMAM：三井住友アセットマネジメント

2016年度総括

- 2016年度の親会社株主純利益は7,065億円と、前年比+598億円の増益。
マイナス金利導入等厳しい収益環境の中、連結業務純益は前年比略横這いを確保。
連結納税制度導入に伴う税効果影響等が増益に貢献
- 2016年度の1株当たり配当は期初目標通り150円

(億円)	16年度	前年比	17年度 目標
親会社株主純利益	7,065	+598	6,300

中期経営計画（2014年度～2016年度）の財務目標

		16年度	16年度 目標
成長性	連結粗利益成長率*1	+0.8%	+15%程度
収益性	連結ROE	9.1%	10%程度
	連結当期純利益RORA	1.0%	1%程度
	連結経費率	62.1%	50%台半ば
健全性	普通株式等Tier1比率*2 (その他有価証券評価差額金除く)	12.2% (10.0%)	10%程度

*1 連結粗利益の2013年度比成長率

*2 パーゼルⅢ規制完全実施時の定義での算出（2019年3月末に適用される定義に基づく）

1株当たり情報(連結)

(円/株)	16年度	前年比	17年度 目標
親会社株主純利益	516.00	+43.01	446.80
配当	150	±0	160

(円/株)	17/3月末	16/3月末比
純資産	6,901.67	+382.07

格付

	Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
SMFG	A1/P-1	A-/ -	A/F1	A+/ -	AA-/ -
SMBC	A1/P-1	A/A-1	A/F1	AA-/a-1+	AA/J-1+

2016年度業績のサマリーと2017年度業績目標

P/L

(億円)		16年度	前年比	上期目標	17年度目標
連結	連結粗利益	29,207	+168		
	営業経費	▲18,124	▲876		
	持分法投資損益	246	+607		
	連結業務純益	11,329	▲101	5,500	11,300
	与信関係費用	▲1,644	▲616	▲1,100	▲2,100
	株式等損益	550	▲140		
	その他	▲176	+1,062		
	経常利益	10,059	+206	4,600	9,700
	特別損益	▲266	▲214		
	税コスト*1	▲1,710	△541		
	親会社株主純利益	7,065	+598	3,100	6,300
単体	業務粗利益	16,637	+1,294		
	経費*2	▲8,169	▲115		
	業務純益*3	8,467	+1,179	2,800	6,000
	与信関係費用	▲611	▲643	▲450	▲800
	株式等損益	1,151	+797		
	経常利益	8,640	+1,161	2,400	5,500
	当期純利益	6,818	+726	2,000	4,300

連結粗利益：マイナス金利の影響があった一方、SMBC日興の増益や、SMFLキャピタルの新規連結影響等から増益

営業経費：経費コントロールの強化に取り組んだ一方、海外ビジネス強化や過年度のシステム投資の影響等から増加

持分法投資損益：前年度に発生したBTPNに係るのれん減損の反動等から増益

与信関係費用：SMBCにおいて、大口先の業況悪化に伴うコスト発生等から増加

株式等損益：政策保有株式の売却損益は約600億円（2016年度の削減実績は約1,000億円）

その他：前年度にSMBCCFで実施した利息返還損失引当金繰入の反動等から増益

特別損益：SMBCフレンドののれん減損（▲430億円）、SMAM子会社化に伴う段階取得益（+293億円）を含む

税コスト：連結納税制度導入に伴う税効果（1,000億円程度）を含む

SMBC以外の主要グループ会社の親会社株主純利益寄与*4

(億円)	16年度	前年比	(億円)	16年度	前年比
SBMCCF	1,110	+1,760	SMCC	160	▲10
SMBC日興*5	450	+80	SMBCフレンド	10	▲30
SMFL	300	+30	SMBC信託	▲40	+70
セディナ	220	+140	東亜銀行	110	▲30

*1 法人税・住民税・事業税、及び法人税等調整額 *2 臨時処理分を除く *3 一般貸倒引当金繰入前 *4 概数

*5 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含まない

トップライン収益概要

連結粗利益の科目別内訳

(億円)	15年度	16年度	前年比
連結粗利益	29,040	29,207	+168
うち資金利益	14,229	13,586	▲643
うちSMBC	10,236	11,389	+1,154 ^{*1}
うち役務取引等利益	10,038	10,133	+95
うちSMBC	3,586	3,489	▲97
うちSMBC日興 ^{*2}	1,650	1,760	+110
うち特定取引利益+その他業務利益	4,735	5,450	+714
うちSMBC	1,496	1,739	+243

国内預貸金利回差（単体）

(%)	16年度	前年比	上期	下期
貸出金利回	1.05	▲0.19	1.09	1.01
預金等利回	0.01	△0.02	0.01	0.00
預貸金利回差	1.04	▲0.17	1.08	1.01

（参考）政府等向け貸出金控除後

貸出金利回	1.11	▲0.13	1.13	1.08
預貸金利回差	1.10	▲0.11	1.12	1.08

期中平均貸出残高・スプレッド^{*3}

(兆円、%)	平均残高		スプレッド	
	16年度	前年比 ^{*9}	16年度	前年比
国内貸出 ^{*4}	51.9	+3.3	0.83	▲0.08
除く政府等・SMFG向け	48.3	+1.1	0.88	▲0.05
うち大企業 ^{*5}	14.5	+0.6	0.57	▲0.02
うち中堅・中小企業 ^{*6}	16.7	+0.4	0.75	▲0.07
うち個人	14.1	▲0.1	1.50	▲0.02
国際部門運用資産 ^{*7, 8}	2,445億ドル	+161億ドル	1.21	0.00

（参考）マーケティング部門粗利益（単体）の内訳^{*3}

(億円)	15年度	16年度	前年比 ^{*9}
シンジケーション	456	487	+42
ストラクチャードファイナンス	265	352	+76
アセットファイナンス ^{*10}	167	195	+27
デリバティブ販売	264	220	▲54
国内法人ビジネス関連	1,152	1,254	+91
投資信託	257	200	▲56
個人年金	109	47	▲62
一時払終身保険	203	45	▲158
平準払保険	69	63	▲6
国内個人ビジネス関連	638	355	▲282
うち振込・EB	926	933	+3
うち外為収益	522	532	+13
国内非金利収益	3,160	3,177	+43
うちローン関連手数料	727	725	+53
国際部門非金利収益	1,306	1,329	+68
非金利収益	4,466	4,506	+111
うち国内貸出金収益	4,212	4,200	▲121
うち国内円預金収益	987	648	▲29
うち国際部門金利関連収益	2,254	1,946	▲41
金利収益	8,275	7,606	▲178
マーケティング部門粗利益（単体）	12,741	12,112	▲67

^{*1} SMBC日興からの配当金2,000億円を含む（連結では相殺消去） ^{*2} 概数 ^{*3} 内部管理ベース ^{*4} 単体 ^{*5} GCB本部 ^{*6} CB本部、エリア企業本部の合算

^{*7} SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行（中国）の合算 ^{*8} 貸出金・貿易手形・有価証券の合計 ^{*9} 金利・為替影響等調整後ベース ^{*10} 不動産ファイナンス、金銭債権流動化等

連結部門別実績*1

(億円)				15年度	16年度	前年比*2
	ホールセール部門	粗利益		7,212	7,092	+147
		経費		▲2,994	▲2,952	▲30
		業務純益		4,218	4,140	+117
	リテール部門	粗利益		4,815	4,877	+107
		経費		▲3,832	▲3,877	▲23
		業務純益		983	1,000	+84
	国際部門	粗利益		6,448	5,995	+208
		経費		▲2,469	▲2,435	▲97
		業務純益		3,979	3,560	+111
	うちマーケティング部門	粗利益		18,475	17,964	+462
		経費		▲9,295	▲9,264	▲150
		業務純益		9,180	8,700	+312
	うち市場営業部門	粗利益		3,256	3,038	▲258
		経費		▲388	▲364	△27
		業務純益		2,868	2,674	▲231
	うちSMFL	うち粗利益		1,428	1,788	+360
		うち経費		▲635	▲843	▲208
		業務純益		807	962	+155
	うちSMBC日興	粗利益		3,180	3,521	+352
		経費		▲2,572	▲2,691	▲127
		業務純益		608	830	+225
	うちカード・CF*3	粗利益		6,071	6,367	+297
		経費		▲3,861	▲4,048	▲188
		業務純益		2,210	2,319	+109
合計		粗利益		29,040	29,207	+168
		経費		▲17,248	▲18,124	▲876
		(参考) 粗利益－経費		11,792	11,083	▲708
		持分法投資損益		▲362	246	+607
		業務純益*4		11,429	11,329	▲101

*1 内部管理ベース *2 金利・為替影響等調整後ベース *3 SMCC、セディナ、SMBCCFの合計

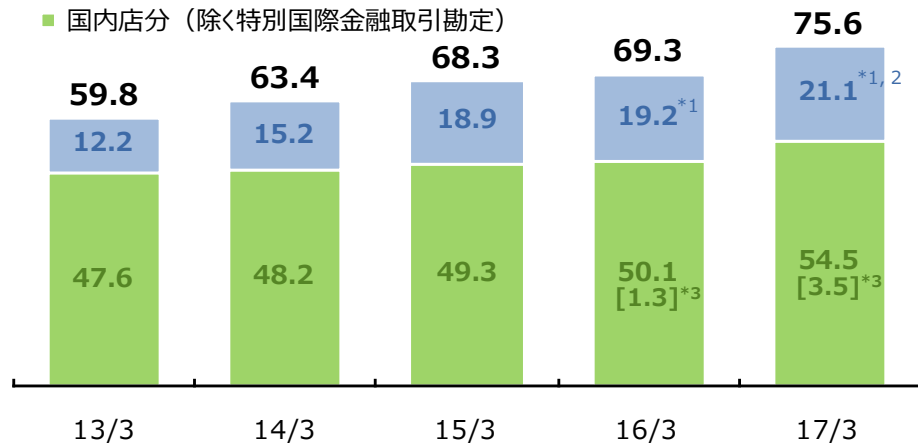
*4 連結業務純益＝連結粗利益－営業経費＋持分法による投資損益

主要項目の時系列推移

貸出金残高（単体）

（兆円）

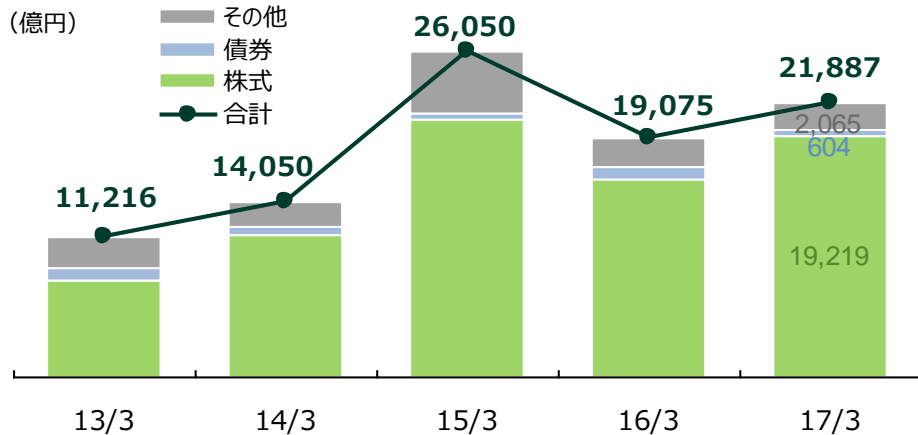
- 海外店分及び特別国際金融取引勘定分
- 国内店分（除く特別国際金融取引勘定）



その他有価証券評価損益（連結）

（億円）

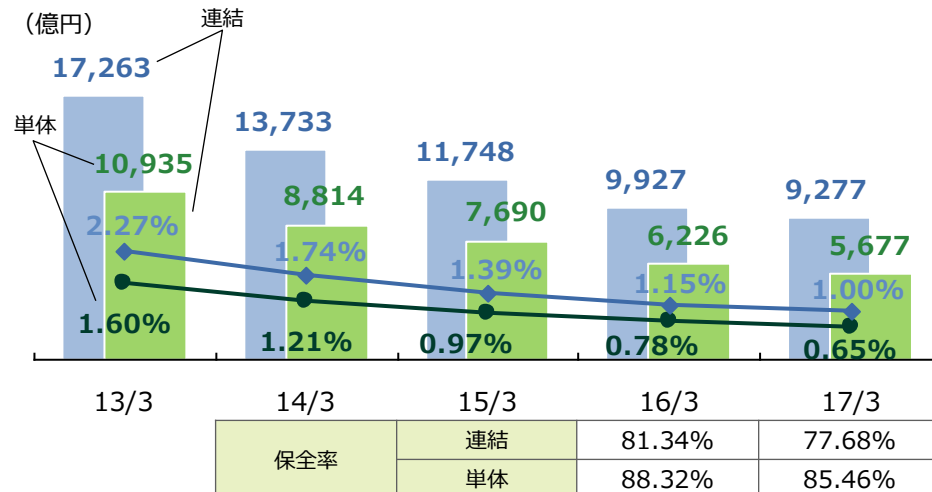
- その他
- 債券
- 株式
- 合計



JGB（その他有価証券） ^{*4}	7.8兆円	7.1兆円
外債（その他有価証券） ^{*4}	5.2兆円	5.6兆円

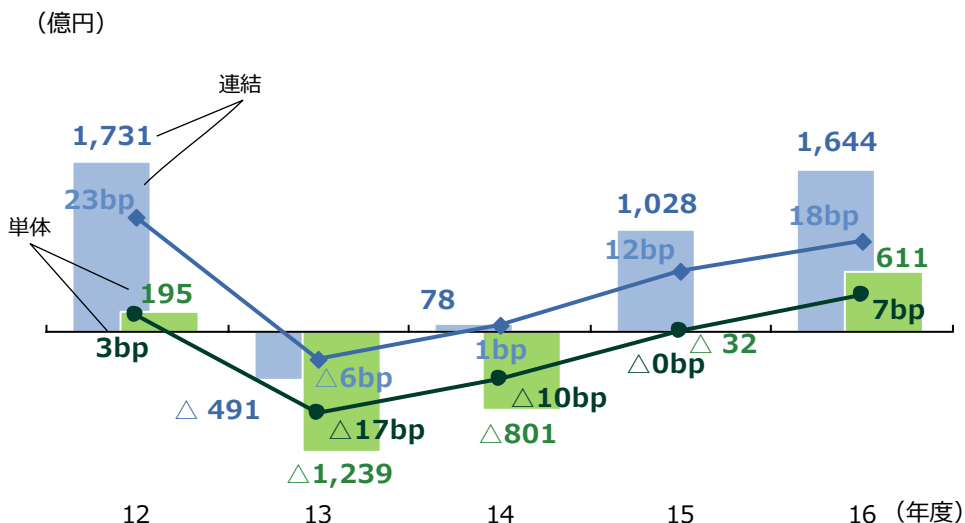
不良債権残高及び同比率^{*5}

（億円）



与信関係費用及び同比率^{*6}

（億円）



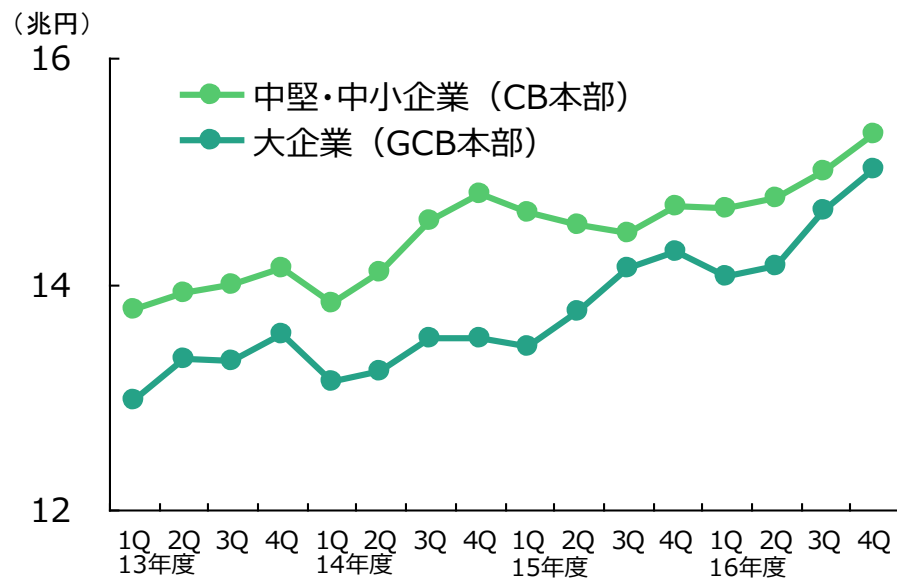
^{*1} 各月末TTM 16/3月末：112.62円/ドル、127.47円/ユーロ 17/3月末：112.19円/ドル、119.84円/ユーロ

^{*2} 17/3月末より、カナダ支店（16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継）の残高を含む ^{*3} うち政府等・SMFG向け

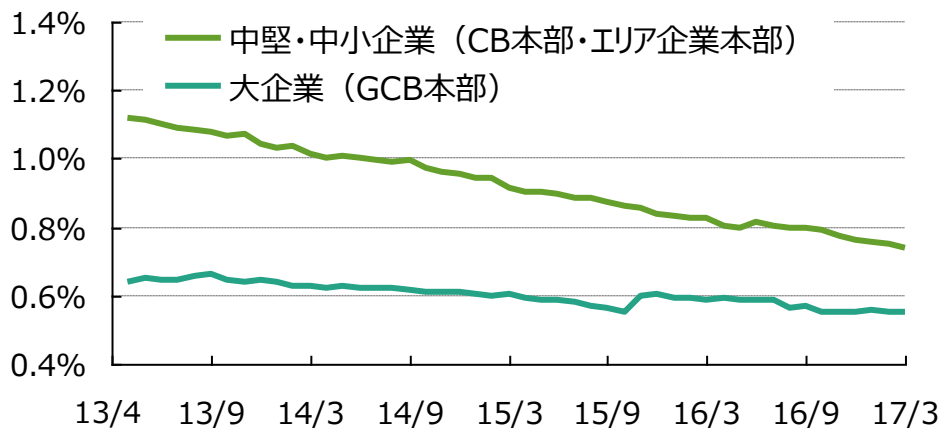
^{*4} 単体、貸借対照表計上額 ^{*5} 不良債権比率＝金融再生法開示債権残高（除く正常債権）／総与信 ^{*6} 与信関係費用比率＝与信関係費用／総与信

ホールセールビジネス

ホールセール部門貸出金残高 (SMBC単体) *1, 2

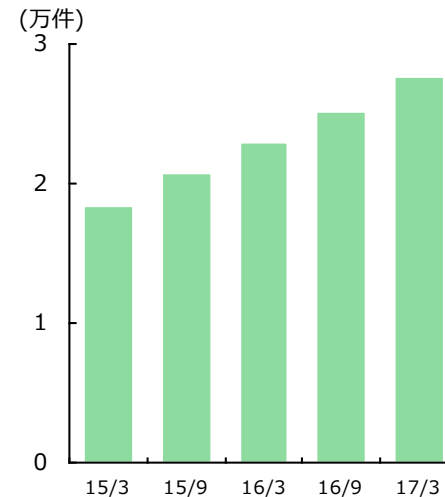


国内法人向け貸出金スプレッド (単体) *1, 3

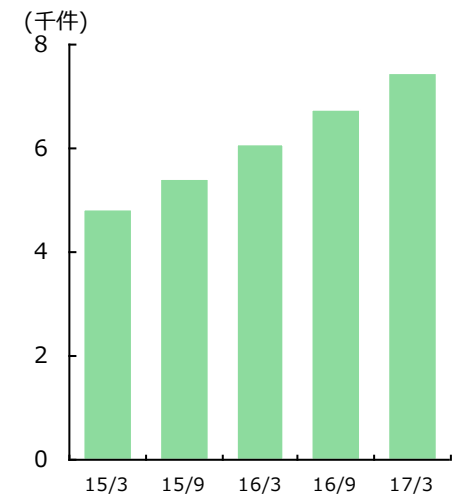


銀証連携 (法人)

運用業務 (累積件数)



投資銀行業務 (累積件数)



リーグテーブル (16年4月-17年3月) *4

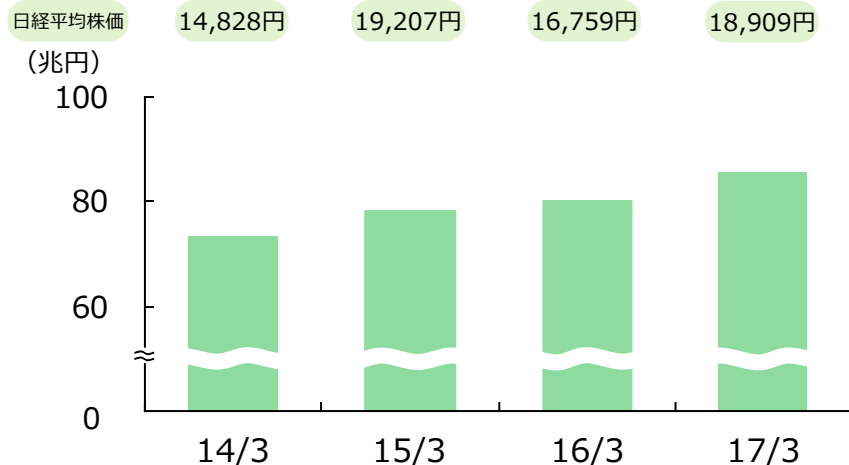
	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) *5, 6	2位	19.0%
円債総合 (主幹事、引受金額) *5, 7	3位	17.2%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) *5, 8	2位	4.5%
IPO (主幹事、案件数) *9	4位	16.5%

*1 内部管理ベース。政府等向けを除く。14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出 *2 四半期平残 *3 月次、ストックベース
 *4 株式関連、円債総合はSMBC日興、ファイナンシャル・アドバイザーはSMFG *5 出所：トムソンロイターの情報を基にSMBC日興が作成 *6 日本企業関連、海外拠点を含む
 *7 事業債、財投機関債・地方債 (主幹事方式)、サムライ債 *8 日本企業関連公表案件、グループ合算 *9 REITのIPOを除く、海外拠点を含む。出所：トムソンロイター

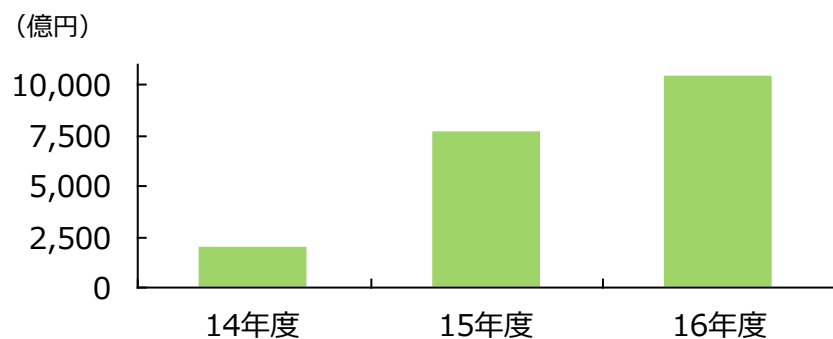
リテールビジネス／SMBC日興の業績

銀証連携（個人）

リテール預り資産残高（ SMBC+SMBC日興 +SMBC信託プレステア ）



運用商品残高増加額（除く 時価要因、SMBC+SMBC日興）*1



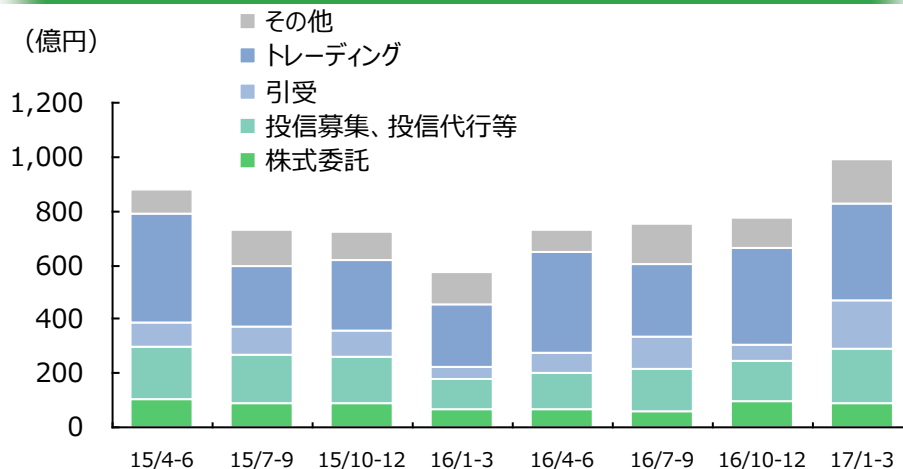
銀証連携による 預り資産残高 (SMBC日興)*2	15/3	16/3	17/3
	約2.7兆円	約3.6兆円	約4.8兆円

SMBC日興

業績（連結）

(億円)	15年度	16年度	前年比
純営業収益	2,928	3,267	+339
販売費・一般管理費	▲2,415	▲2,509	▲94
経常利益*3	558	800	+242
親会社株主純利益*3, 4	421	469	+48

純営業収益推移

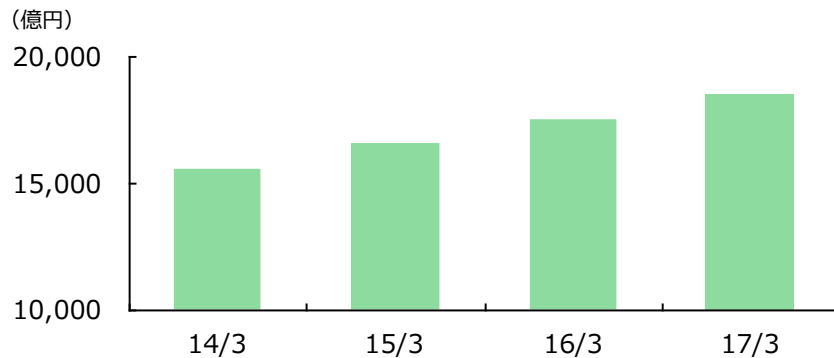


*1 SMBCにおける運用商品の販売と解約・償還のネット金額及び、SMBC日興における資産導入額（SMBCからの紹介顧客による資産導入額を含む）の合計

*2 SMBCからSMBC日興への紹介及び、SMBCの金融商品仲介業務を通じた、SMBC日興における預り資産残高。2011年1月にSMBCフレンドのリテール銀証協働事業をSMBC日興へ統合した際の移管口座における残高、SMBC日興のプライベートバンキング本部における残高を含む *3 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益等を含む

*4 パークレイズとの提携事業再編清算金120億円を16年度に特別損失に計上

無担保カードローン残高 (SMBC+SMBCCF)

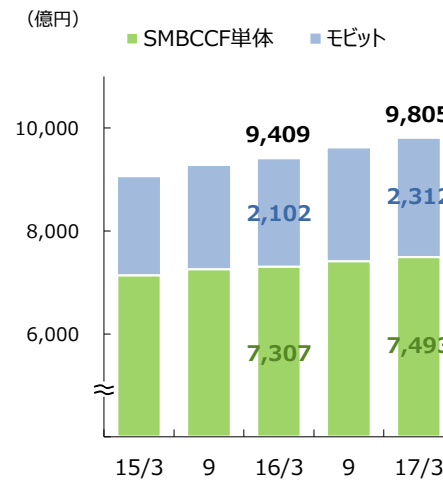


SMBCCF : 業績 (連結)

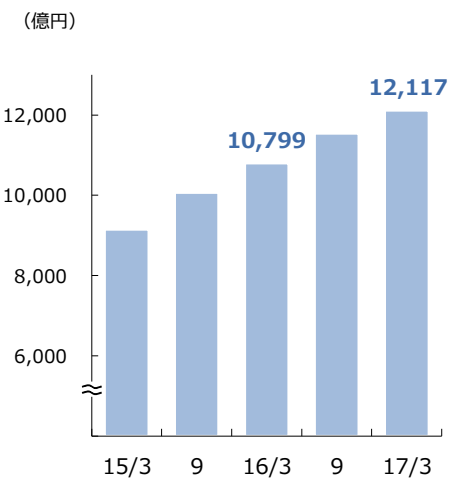
(億円)	15年度	16年度	前年比
営業収益	2,458	2,588	+130
営業費用のうち貸倒費用	▲520	▲546	▲26
営業費用のうち利息返還費用	▲1,220	-	△1,220
経常利益	▲612	674	+1,286
親会社株主純利益	▲648	1,114	+1,762
営業貸付金残高	10,220	10,746	17年度からの 連結納税制度 導入に伴う税効果 +約500億円
利息返還損失引当金	1,888	1,216	
保証残高	10,799	12,117	
うち地方銀行等向け	4,742	5,618	保証事業提携 先数 (17/3月) 188社

SMBCCF : 金融・保証・海外事業

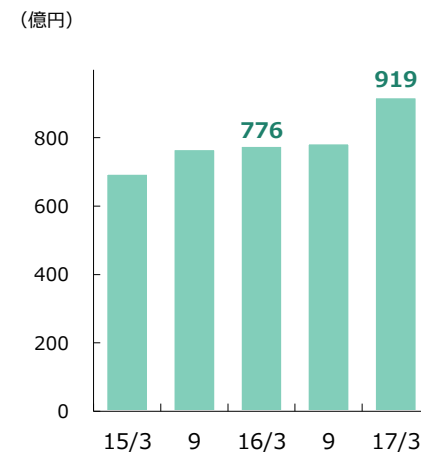
営業貸付金残高



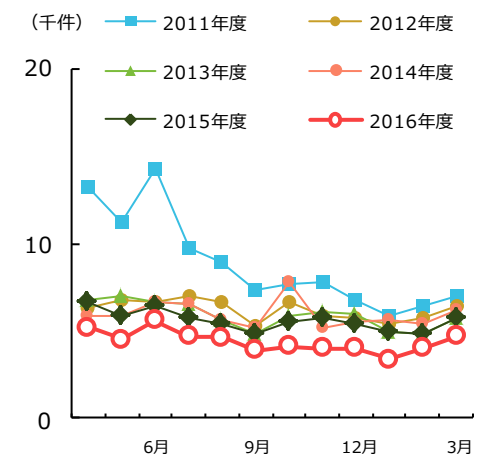
保証残高



営業貸付金残高 (海外) *



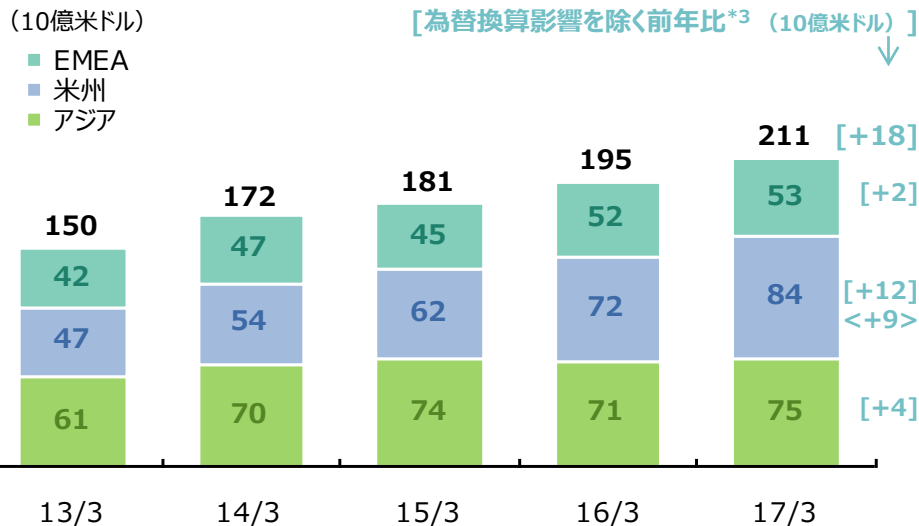
利息返還請求件数



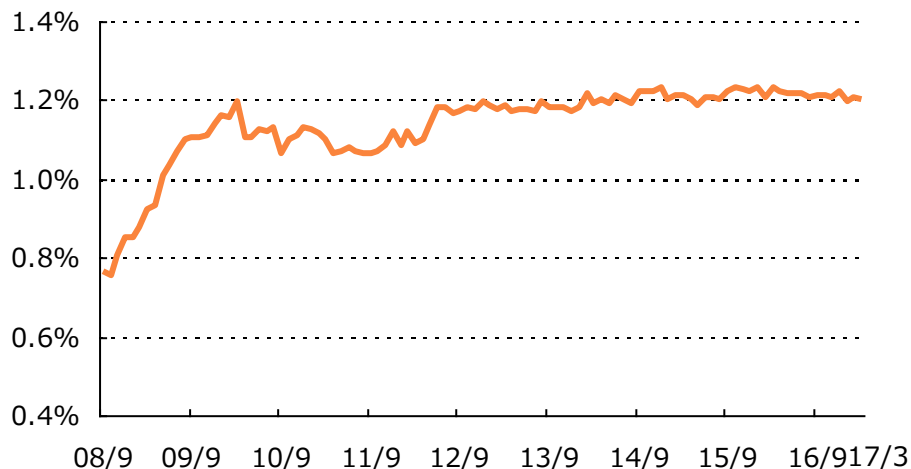
* 現地通貨建を円換算

海外ビジネス

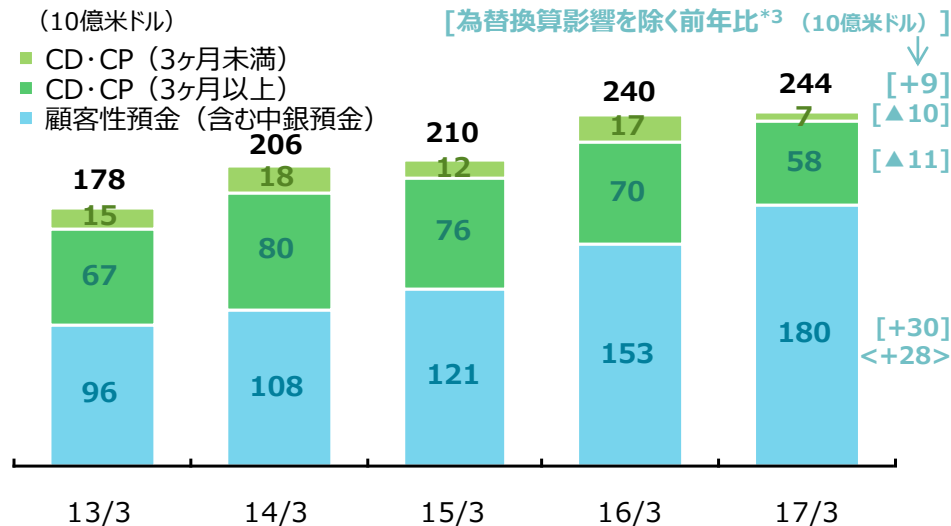
海外貸出金残高*1, 2



海外貸出金スプレッド*1, 4



海外預金等残高*1, 2



外貨建債券発行残高*5 (10億米ドル)	シニア	32.9	44.1
	劣後	4.1	4.1

プロジェクトファイナンス／シンジケートローン

リーグテーブル (2016年1-12月) *6

	グロ-バル	アジア*7	日本
プロジェクトファイナンス	3位	4位	
シンジケートローン	9位	9位	2位

*1 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行（中国）の合算。17/3月末より、カナダ支店（16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継）の残高を含む *2 各期末実績レートにて換算 *3 各現地通貨の対米ドル為替換算影響を除く前年比。< >はカナダ支店化による増加影響を除くベース *4 月次、ストックベース
*5 SMFG及びSMBCの発行分 *6 出所：トムソンロイター（マンデーティッド・アレンジャー） *7 プロジェクトファイナンス：アジア大洋州、シンジケートローン：アジア（除く日本）

資源セクター関連エクスポージャー*1

		(兆円)	15/3月末	総与信対比	16/3月末	総与信対比	17/3月末	総与信対比
	総合石油・ガス*2	総合石油・ガス*2	1.8	1.6%	1.5	1.3%	1.3	1.1%
		サービス（掘削、サービス）	0.5	0.4%	0.5	0.4%	0.4	0.4%
		上流（開発（E&P*3））	1.5	1.3%	1.7	1.4%	1.5	1.2%
		中流（貯蔵・輸送）	1.1	1.0%	1.4	1.2%	1.4	1.1%
		下流（精製販売）	0.7	0.6%	0.7	0.6%	0.9	0.7%
	石油・ガス		5.5	5.0%	5.8	5.0%	5.5	4.4%
	その他資源（鉱業）		1.2	1.1%	1.1	1.0%	0.9	0.8%
	非日系*4（資源セクター関連）		6.8	6.1%	6.9	6.0%	6.4	5.2%
	うち上流	うち上流	0.1	0.1%	0.2	0.2%	0.2	0.2%
		石油・ガス	1.2	1.1%	1.6	1.4%	1.3	1.1%
		その他資源（鉱業）	0.2	0.2%	0.2	0.2%	0.2	0.2%
		日系（資源セクター関連）	1.4	1.2%	1.8	1.6%	1.5	1.2%
	資源セクター関連合計		8.1	7.3%	8.8	7.6%	7.9	6.4%
	石油・ガス合計		6.7	6.0%	7.4	6.4%	6.8	5.5%
	その他資源（鉱業）合計		1.4	1.3%	1.3	1.1%	1.1	0.9%
	非日系*4		38	34.0%	38	32.9%	41	33.5%
	日系		73	66.0%	77	67.1%	82	66.5%
	連結総与信		111	100.0%	115	100.0%	123	100.0%

- 石油・ガスに石油化学、日系のその他資源に総合商社を含まない
- 非日系（資源セクター関連）：コーポレートファイナンス 約70%、プロジェクトファイナンス 約30%
- 日系（資源セクター関連）：コーポレートファイナンス100%。不良債権なし
- 資源価格変動の影響を受けないプロジェクトファイナンスを除いた17/3月末の資源セクター関連合計は7.1兆円、同EADは6.3兆円

*1 貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等 *2 オイルメジャー、国営石油会社等 *3 Exploration & Production

*4 ドル建エクスポージャーを各月末TTMで円換算（15/3月末120.15円/ドル、16/3月末112.62円/ドル、17/3月末112.19円/ドル）

資本・リスクアセット（連結）

自己資本比率（規制基準）

	(億円)	16/3月末	17/3月末 (速報値)
普通株式等Tier1資本		77,965	86,085
うち普通株式に係る株主資本		73,518	80,133
うちその他の包括利益累計額 ^{*1}		8,757	12,900
うち調整項目 ^{*1}		▲ 6,464	▲ 8,981
Tier1資本		90,317	99,462
うちその他Tier1資本調達手段		3,000	4,499
うち適格旧Tier1資本調達手段 ^{*3}		9,620	8,129
うち調整項目 ^{*1, 2}		▲ 2,449	▲ 1,729
Tier2資本		22,043	20,275
うちTier2資本調達手段		6,551	8,989
うち適格旧Tier2資本調達手段 ^{*3}		12,206	8,731
うちその他有価証券及び土地の含み益の45% ^{*2}		3,457	1,974
うち調整項目 ^{*1, 2}		▲ 1,371	▲ 706
総自己資本		112,359	119,737
リスクアセット		660,116	706,835
普通株式等Tier1比率		11.81%	12.17%
Tier1比率		13.68%	14.07%
総自己資本比率		17.02%	16.93%

普通株式等Tier1比率（完全実施基準^{*4}（試算値））

	(億円)	16/3月末	17/3月末
規制基準との差異 ^{*5}		1,046	702
うちその他の包括利益累計額		5,838	3,225
うちその他有価証券評価差額金		5,391	3,085
うち非支配株主持分（経過措置対象分）		▲ 483	▲ 278
うち普通株式等Tier1資本に係る調整項目		▲ 4,309	▲ 2,245
普通株式等Tier1資本（完全実施基準）		79,010	86,787
リスクアセット（完全実施基準）		659,428	706,447
普通株式等Tier1比率（完全実施基準）		11.9%	12.2%
（参考）普通株式等Tier1比率（完全実施基準、 その他有価証券評価差額金除く）		9.9%	10.0%

17年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

	発行 時期	発行残高	配当率 ^{*6}	任意 償還 ^{*7}	ステップ アップ
SMFG Preferred Capital JPY 1 Limited	08/2	JPY 135.0 bn	3.52%	18/1以降	なし

レバレッジ比率（規制基準（速報値））

	(億円)	17/3月末
Tier1資本		99,462
レバレッジエクスポージャー		2,096,696
レバレッジ比率		4.74%

LCR（規制基準）

17/1~3月平均
119.2%

^{*1}~^{*3} 経過措置の対象項目(Tier1及びTier2の調整項目は^{*1}と^{*2}の両方の項目を含む) ^{*1} 総額の60% / 80%(前者が16/3月末、後者が17/3月末。以下同様)が資本算入
^{*2} 総額の60% / 80%分の算入除外反映後の金額 ^{*3} 算入上限60% / 50% ^{*4} 19/3月末に適用される定義に基づく ^{*5} 経過措置により総額の60% / 80%相当が規制基準で調整されているため、本欄には総額の40% / 20%相当額を記載 ^{*6} 任意償還日以降の配当率は変動配当率 ^{*7} 予め金融庁長官の確認を受けた上で、各配当支払日に任意償還可能

2016年度のトピックス

国内ビジネス

ホールセールビジネス

- 貸出金増強・利鞘確保の取組み（ソリューション提供力を活かした貸出（MBO・LBO、事業再編、ハイブリッドファイナンス））
- SMBCとSMBC日興職員の銀証兼職組織の拡大
- 異業種連携の事業コンソーシアム^{*1}のメンバーを拡大、スタートアップ企業による日本最大級のピッチコンテスト^{*2}を開催

リテールビジネス

- SMBCが「第12回銀行リテールカ調査」^{*3}総合1位、SMBC日興が「カスタマーサポート表彰制度2016」^{*4}最優秀賞等を受賞、SMBCCFが「COPC® CSP規格^{*5}」認証をノンバンク業界初の4年連続取得
- スマートフォンを活用したサービスの拡充（銀行取引新アプリ）。Visaブランドのデビットカード「SMBCデビット」の取り扱い開始

IT・イノベーション

- NTTデータ、アイルランド・Daon社と、複数の生体情報を活用した本人認証プラットフォーム提供に向けた新会社を設立
- NECとSMBCで共同設立したブリースコーポレーションがアプリを使った新たなコンビニ収納サービスの実用化に向け、事業を開始
- SMCCが米国Stripe社の提供する最先端の決済サービスを日本で正式に取扱い開始、Apple Payへの対応開始
- SMFG、SMBC、SMCCが、送金・決済システムを開発するスタートアップ企業Kyashと業務提携。SMBCが同社へ出資
- SMFGがシリコンバレー・デジタルイノベーションラボ（17/4月）、SMBCがニューヨーク支店シリコンバレー出張所を開設

海外ビジネス

- 三井住友銀行（中国）が大連支店、SMBCがヤンゴン支店ティラワ出張所、ニューデリー支店ムンバイ出張所を開設
- インドネシアにおいてBTPNとリテール業務で協働。BTPNでは富裕層/中間層向けの新たなデジタルバンキングサービスを立ち上げ
- SMBCが米国貨車リース会社買収を発表。海外で高採算アセットを選別的に積み上げ、資産効率や収益性を高める戦略の一環

グループ再編

- SMBC日興とSMBCフレンドが2018年1月の合併に向け、合併契約を締結。SMAMを連結子会社化
- りそなホールディングス、みなと銀行、関西アーバン銀行及び近畿大阪銀行と、みなと銀行、関西アーバン銀行及び近畿大阪銀行の3社の経営統合に向け協議・検討を進めて行くことについて合意

^{*1} III（トリプルアイ）：技術やビジネスアイデアの事業化支援・政策提言を行う、国内初の異業種連携の事業コンソーシアム

^{*2} 未来2017：トリプルアイの活動の一環で開催するイベント。インキュベーション/アクセラレーションプログラム

^{*3} 日本経済新聞社と日経リサーチが全国の117銀行を対象として実施した調査

^{*4} 公益社団法人企業情報化協会が主催するカスタマーサポート表彰制度 ^{*5} コンタクトセンター業務の国際的な品質保証規格